



東っ子

いわき市立小名浜東小学校だより
平成30年度 第11号
平成31年2月19日
発行者：校長 鈴木 廣美

「考える道徳」について

平成30年4月から、小学校では「特別の教科 道徳」の授業がスタートしました。(中学校は、平成31年4月からです。あと少しですね。)なぜ、「特別の教科」なのかというと、道徳の教員免許というものがなく、学級担任が授業を行うのが望ましいとされている事と「3・2・1」や「◎・○・△」等の評価がふさわしくないと考えられるなど、他の教科とは違った面があるため「特別の教科」と位置づけられたのです。

授業の中身も、少しずつ変わってきています。



これまでは、教材文を読み、主人公の気持ちを場面ごとに考えるような授業が多く行われてきました。これからは、道徳的な実践力を高めるため「この時、○○君(主人公等)は、どうすればよいのでしょうか。」等、学級やグループで話し合っって考え、子どもたちの様々な意見を引き出すようにしていきます。そして、「こんな時、自分ならどうしますか。」と、道徳的な価値(勇気、親切、思いやり等)について、一人一人が、自分の事として考えることをねらっています。

本校でも、各担任の先生方が、教科書の場面絵を拡大した掲示物を作ったり、役割劇をしてみたり、ワークシートというプリントを配って、自分の気持ちを書かせたりと授業の工夫をしています。今年度の通知票「ひがしっ子」には、道徳についての学びや成長の様子が数値の評価ではなく、文章で記載されています。教科なので、副読本ではなく、検定を受けた「教科書」や「ふくしま道徳教育資料集」等の教材を使って授業が行われています。子どもたちが、これからの人生をよりよく生きていくために、道徳的な価値を理解し、自分を見つめ、物事を多面的に考えていくことができるように、これからも道徳の授業を大切にしていきたいと思ひます。

移行期の外国語教育



新学習指導要領が公示され、小学校では、平成30・31年度が移行期間となり、平成32年度からは全面実施となります。

	H30年度	H31年度	H32年度
3・4年	15時間	15時間	35時間
5・6年	50時間	50時間	70時間

現在は3～6年、全て「外国語活動」ですが、32年度からは3・4年生が「外国語活動」として「聞くこと」「話すこと」5・6年生は「外国語科」として「読むこと」「書くこと」が加わります。

現在は移行期間ですが、ALTと外国語担当の先生が、32年度の全面実施に合わせて、担任と協力し合っって授業を行っています。

カラム先生と一ノ瀬先生の「外国語活動」の授業

ALT紹介～カラム・ウィックス先生

こんにちは。イギリスのウェールズの
カラムと申します。

カラムと呼んでください。

大学で、日本語と文化を勉強し、
英語を教えることに興味が出てきま
した。

私は、海、キャンプ、ハイキング、山
と歴史に興味があるので、私はいつも
新しく、おもしろいことを探しています。

いつでも、私と日本語か英語で話
してください。

今から頑張ります。

よろしくお願いします。

カラム ウィックス

2学期から、アダム先生に代わり、外国語や
外国語活動の授業を受け持っているALT（アシス
タント・ラングイッジ・ティーチャー）のカラム
先生を紹介します。日本の大学に留学していた
経験もあり、日本語がとても上手です。



峰 丘さんと5年生の芸術体験 金箔を使って一人一人の個性が光る作品作り

1月29日、いわき市在住の画家：峰丘さん
をお招きし、5年生が金箔を使った作品作りを
行いました。峰丘さんは1948年生まれで、
磐城高校を卒業後、画家を志して、メキシコ国
立自治大学造形学部で学びました。メキシコ滞
在は11年間にわたり、帰国後、国内はとより、
世界各地で絵の指導や制作、個展を行っていま
す。昨年は、「アクアマリンふくしま」や「いわ
き市立美術館」で「峰丘展」が開催されました。



当日は、世界地図を前に、峰丘さんが旅した
世界各地の様子や、画家を志したきっかけにつ
いてのお話があり、子どもたちは興味津々で聞き入
っていました。5年生が一番夢中になったのは、
金箔を貼る体験です。小さな厚紙に膠（にかわ）
を塗り、薄い金箔を、刷毛を使って一気に貼り付
けます。金箔は少しの風にも反応してよじれてし
まうので、同じ作品は一枚もありません。「少し曲がったり、破けたりしても、それぞれの作品
が違うのは個性だから認め合い、お互いの作品を大事にする事。一人一人、みんな大事。これから
先、つらいことやへこたれそうになったときに、この金箔のカードを握りしめて「金」の心で命を
大事に生きていってください！」という峰丘さんの言葉に、5年生は皆、深くうなずいていました。